

2014年度 びわスポキッズプログラム 事業報告



協賛

株式会社 平和堂
滋賀トヨペット株式会社
エールコーポレーション株式会社
草津ライオンズクラブ
全日本不動産協会滋賀県本部
あそうクリニック
キリンビバレッジ株式会社
ミズノ株式会社
森永製菓株式会社
味の素株式会社
株式会社中山スポーツ
株式会社スポーツショップキムラ

後援

滋賀県教育委員会 大津市教育委員会 高島市教育委員会
公益財団法人滋賀県体育協会 大津市体育協会 滋賀経済団体連合会
滋賀県商工会議所連合会 滋賀県商工会連合会 滋賀県中小企業団体中央会
滋賀経済同友会 社団法人滋賀経済産業協会
社団法人びわこビジャーズビューロー NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム運営会議
担当	びわスポキッズプログラム事務局
実施日	2014年5月23日(金) 16:00～
対象	びわスポキッズプログラム運営委員
場所	大阪成蹊学園 びわこセミナーハウス
実施形態	会議
費用	なし
概要	本学が取り組んでいるびわスポキッズプログラムは、多くの協賛企業団体・後援企業団体に支えられ、今年度で6年目を迎えました。 本事業の運営に伴う諮問機関として、「内規」「運営会議細則」で定められた、主に学内関係者・企業団体などから選出された、びわスポキッズプログラム運営委員から成り立つ運営会議を設置している。 前年度報告及び事業計画を運営会議にて協議し、びわスポキッズプログラムの方向性を話し合う場ともなっている。

当日のスケジュールについては以下の通り、

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事

第一号議案 平成25年度事業実績報告について

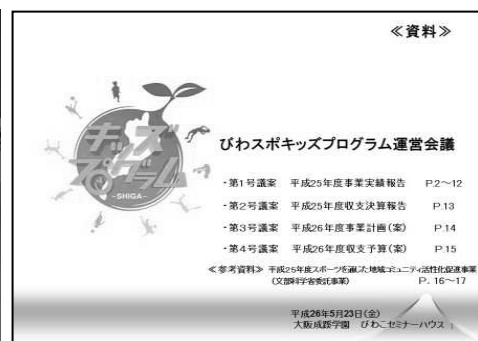
第二号議案 平成25年度収支決算報告について

第三号議案 平成26年度事業計画(案)について

第四号議案 平成26年度収支予算(案)について

4. その他
5. 閉会

記録(写真)



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム 巡回指導
担当	板金 立樹 ・ びわスポキッズリーダー
実施日	申込団体の希望による (原則平日9:00～17:00までの間で1～2プログラム 1プログラム45分程度×プログラム数)
対象	保育園・幼稚園の年中児・年長児 および 小学生低学年
場所	各園や希望されたグラウンド 他
実施形態	実技指導(運動・遊びのプログラム提供)
費用	無料
概要	<p>びわスポキッズリーダーが日々滋賀県内の保育園・幼稚園・小学校へ訪問し、運動・遊びのプログラムを提供している。1回のプログラムはおよそ45分程度で、準備体操から始まり、基本的な動作、応用に至るまで子どもの発育・発達状況に合わせたプログラムを組み立て実施している。</p> <p>びわスポキッズプログラムではBRT(バランス、リズム、タイミング)の3要素を重視したスポーツセンスを育む内容を取り込んでいる。また、スポーツマインド(スマイル、自律・強調、フェアプレー)を育むための環境づくりや約束づくりも大切にしている。具体例としては、「ありがとう」「ごめんなさい」など、礼儀の大切さを伝えていることが挙げられる。</p> <p>今年度の巡回指導では、巡回指導先を整理し、重点園を設定した。年度当初に各園と年間計画を立て活動を行った。</p> <p>[重点園とは、大学を基点とし、志賀北幼稚園、志賀南幼稚園、真野北幼稚園・伊香立幼稚園(合同)、真野幼稚園、堅田幼稚園、仰木の里幼稚園、仰木幼稚園、雄琴幼稚園とした。]</p> <p>また、リーダー各々に担当園を持たせ、園児との信頼関係の構築や子どもの発育発達を回を重ねるごとに感じられる仕組みを構築した。</p> <p>そのほかにも、大津市内では逢坂幼稚園、日吉台幼稚園(新規)、高島市内ではマキノ西保育園(新規)、草津市内では草津第6保育所など遠方への巡回指導も行っている。</p> <p>さらに、新たな取り組みとして「2園合同実施」、前年度作成のDVDを基にした「親子プログラムの実施」が挙げられる。</p> <p>スポーツ大学の特性を生かし、巡回指導という実践の学びのフィールドを生かして、キッズリーダーの指導力向上を促すだけでなく、学生自身の人格形成の場ともなっているこの活動を、今後より一層質を高めていきたい。</p>

外部資金

奨学寄附金 1,277,177円

株式会社平和堂	500,000円
キリンビバレッジ株式会社	277,177円
エールコーポレーション株式会社	400,000円
草津ライオンズクラブ	100,000円

記録(写真)



2014年度巡回指導先一覧

	実施日	巡回指導先	学生指導者数	対象者数	備考
1	5月 26日 (月)	志賀南幼稚園	5名	48名	
2	5月 27日 (火)	仰木幼稚園	2名	15名	4・5歳児合同
3	5月 30日 (金)	雄琴幼稚園	2名	20名	
4	6月 2日 (月)	志賀北幼稚園	2名	38名	
5	6月 3日 (火)	草津第6保育所	4名	40名	草津市
6	6月 6日 (金)	逢坂幼稚園	3名	42名	
7	6月 10日 (火)	堅田幼稚園	3名	46名	
8	6月 13日 (金)	仰木の里幼稚園 仰木幼稚園	3名	50名	2園合同
9	6月 16日 (月)	真野北幼稚園 伊香立幼稚園	6名	21名	2園合同
10	6月 17日 (火)	真野幼稚園	2名	38名	
11	7月 8日 (火)	仰木幼稚園	4名	15名	4・5歳児合同
12	9月 4日 (木)	草津第6保育所	3名	40名	草津市
13	9月 10日 (水)	日吉台幼稚園	2名	40名	親子プログラム(担当:山田)
14	10月 7日 (火)	志賀北幼稚園	4名	39名	
15	10月 8日 (水)	志賀南幼稚園	2名	46名	
16	10月 9日 (木)	逢坂幼稚園	3名	42名	
17	10月 15日 (水)	仰木の里幼稚園	3名	50名	
18	10月 21日 (火)	真野幼稚園	3名	38名	
19	10月 22日 (水)	真野北幼稚園 伊香立幼稚園	4名	38名	2園合同
20	10月 23日 (木)	仰木の里幼稚園 仰木幼稚園	6名	50名	2園合同
21	10月 24日 (金)	雄琴幼稚園	3名	44名	
22	10月 27日 (月)	堅田幼稚園	2名	46名	
23	10月 29日 (水)	堅田幼稚園	4名	57名	

24	11月 5日 (水)	仰木幼稚園	4名	15名	4・5歳児合同
25	11月 6日 (木)	真野幼稚園	4名	38名	
26	11月 11日 (火)	真野北幼稚園 伊香立幼稚園	4名	38名	2園合同
27	11月 13日 (木)	志賀北幼稚園	5名	39名	
28	11月 20日 (木)	マキノ西保育所	4名	28名	高島市
29	11月 25日 (火)	マキノ西保育所	2名	28名	高島市
30	11月 27日 (木)	仰木の里幼稚園	4名	50名	
31	12月 2日 (火)	マキノ西保育所	4名	32名	高島市
32	12月 4日 (木)	真野幼稚園	5名	38名	
33	12月 5日 (金)	マキノ西保育所	3名	32名	高島市
34	後期 12月 8日 (月)	逢坂幼稚園	1名	42名	
35	12月 9日 (火)	志賀南幼稚園	4名	47名	
36	12月 15日 (月)	志賀北幼稚園	2名	39名	
37	12月 16日 (火)	仰木幼稚園	5名	15名	4・5歳児合同
38	1月 13日 (火)	仰木の里幼稚園	4名	35名	
39	1月 14日 (水)	堅田幼稚園	3名	58名	
40	1月 23日 (金)	真野北幼稚園 伊香立幼稚園	5名	17名	2園合同
41	1月 27日 (火)	仰木幼稚園	2名	15名	4・5歳児合同
42	2月 23日 (月)	真野北幼稚園 伊香立幼稚園	5名	21名	2園合同
43	2月 26日 (水)	仰木幼稚園	5名	15名	4・5歳児合同
44	2月 26日 (木)	雄琴幼稚園	5名	44名	
合計			155名	1589名	

巡回指導リーダーデータ 2014

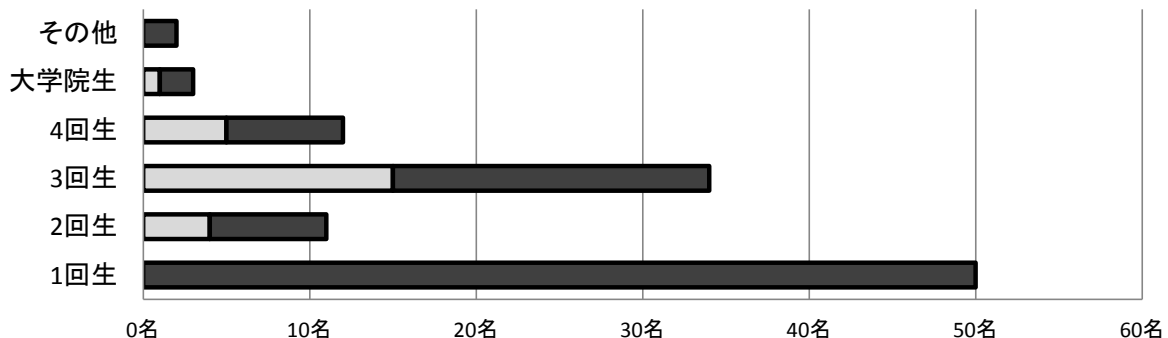
メインリーダー

カテゴリー	人数	指導回数	備考
1回生	0名	0回	サブリーダーを主として活動しながら、スポット的にメインになり、プログラムを実施した。 (1回の巡回指導のうち、キッズの前で指導する経験を作った。)
2回生	0名	0回	
3回生	1名	1回	
4回生	0名	0回	
大学院生	2名	31回	うち、11回は本学大学院2回生 うち、20回は本学大学院1回生
その他	2名	12回	うち、1回は本学山田講師による親子プログラム うち、12回はBIWAKO SPORTS CLUBより派遣

サブリーダー

カテゴリー	延総数	延人数	前期	後期	備考
1回生	112名 (全 44 回実施)	50名	0名	50名	前期は授業日程の関係もあり0名
2回生		11名	4名	7名	
3回生		35名	15名	19名	
4回生		12名	5名	7名	
大学院生		3名	1名	2名	メインリーダーがサブリーダーとして、巡回指導に関わる機会をつくった
その他		2名	0名	2名	

サブリーダー 巡回指導 延人数



	1回生	2回生	3回生	4回生	大学院生	その他
□ 前期	0名	4名	15名	5名	1名	0名
■ 後期	50名	7名	19名	7名	2名	2名

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズフェスティバル				
担当	若吉 浩二 ・ 板金 立樹 ・ びわスポキッズリーダー				
実施日	高島市	2014年 5月24日(土)	安曇川スポーツセンター		
及び	竜王町	2014年 9月28日(日)	竜王ドラゴンハット		
場	東近江市	2014年10月11日(土)	布引グリーンスタジアム		
所	大津市	2014年11月 2日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学		
	草津市	2014年 12月 6日(土)	三ツ池運動公園		
対 象	保育園・幼稚園の4歳児・5歳児 及び 小学1年～3年生(6～8歳)				
実施形態	実技指導(運動・遊びのプログラム提供)				
費用	無料				
各回参加人数	5月24日 安曇川スポーツセンター	参加者	105名	学生指導者数	29名
	9月28日 竜王ドラゴンハット	参加者	103名	学生指導者数	28名
	10月11日 布引グリーンスタジアム	参加者	228名	学生指導者数	50名
	11月 2日 びわこ成蹊スポーツ大学	参加者	89名	学生指導者数	23名
	12月 6日 三ツ池運動公園	参加者	176名	学生指導者数	44名
		参加者合計	701名	学生指導者合計	174名
外部資金	子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構) 1,334,390円				
概 要	<p>2009年7月からスタートした本事業は今年6年目を迎え、計5回のフェスティバルを開催するに至った。昨年度は荒天のため中止になった回があったが、今年度は小雨での開催はあったものの、当初予定していた全5回を実施することが出来た(11月実施のキッズフェスティバルは小雨の中での開催のため、当日キャンセルが多く出た)。</p> <p>前年度より、サッカー部だけではなく、硬式野球部、さらには大学院生へと学生指導者(キッズリーダー)の輪を広げてきたが、今年度は多くの「女性キッズリーダー」の台頭もあり、特に幼稚園・保育園児に対して、きめ細やかな指導ができるようになった。</p> <p>また、キッズフェスティバル会場の新規開拓として、竜王町ドラゴンハットで開催した。竜王会場では初参加のキッズが多く、大変好評であった。竜王町での参加者はじめ、10月以降のフェスティバルに遠方からの参加者が多くいたことは、びわスポキッズプログラムの定着が窺える。</p> <p>一方、今年度を持って子どもゆめ基金の助成が終了するため、次年度以降の開催にあたって、資金面の問題をクリアにしなければならない。より多くの子どもたちに、オリジナルの運動・遊びのプログラムを楽しんでもらい、またこのような学びのフィールドを通して、学生自身の成長の場を確保していくためにも、早急に考えなければならない問題である。</p>				



びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 活動記録

実施日 2014年5月24日(土) 受付9:30～ 開始10:00～
 対象 幼稚園・保育園・こども園 4・5歳児 , 小学校1～3年生
 対象者数 105名 学生指導者数 29名
 場所 安曇川スポーツセンター
 実施形態 実技

概要 5月24日(土)午前、高島市の安曇川スポーツセンターにて、今年度最初のびわスポキッズフェスティバルを行った。高島市を中心に大津市、また遠方からは京都からの参加者もあり、延べ105名のキッズたちを、学年ごとの5カテゴリーに分け、29名の本学学生キッズリーダー(大学院生2名、サッカー部16名、硬式野球部9名、男子バレーボール部1名、女子フットサルサークル1名)が、発育発達の段階に応じた運動遊びのプログラムを提供した。
 このフェスティバルは、スポーツに憧れの感情を持ってもらい、運動を好きになってもらうことはもちろん、普段関わりのない他の地域のキッズたちが交流を持ち、新たな関係性を築いていくことにあり、今回のフェスティバルでも、始めはキッズ同士が互いに打ち解けられていない様子が見受けられたが、プログラムを通して共に汗を流し協力することで、最後にはみんなが笑顔になった。

記録

開催のお知らせ

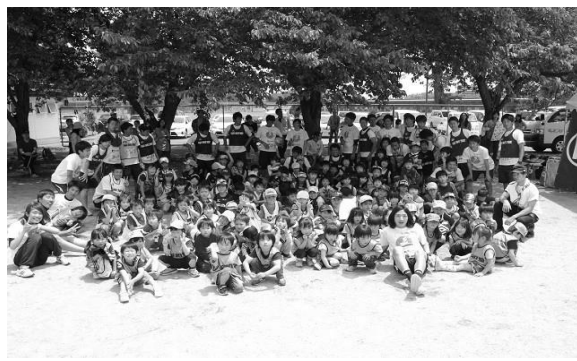
びわこ成蹊スポーツ大学
びわスポキッズプログラム

2014年
 日 5月24日(土) 安曇川スポーツセンター
 受付9:30～ 開始10:00～ 高島市安曇川町青柳1838

今後予定
 6月29日(土) in 竜王 会場 竜王公園
 10月11日(土) in 東近江 会場 中津市2897号
 11月2日(土) in 大津 会場 びわこ成蹊スポーツ大学
 12月6日(土) in 草津 会場 ミナト運動公園

【主催】 学校法人 大阪成蹊学園(びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター)
 【協賛】 株式会社 平島、滋賀県スポーツ振興公社、エコーエーシー(株)株式会社、京都府立大学、全国学生体育協会滋賀県本部、あまのつばき、ゆびのぼり(株)株式会社、SFC株式会社、高本製菓株式会社、味の素株式会社、株式会社中田スポーツ、株式会社天つしんぎく、(株)不明
 【協賛】 滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、高島市教育委員会、安曇川町立入道児童体育協会、大津市体育協会、滋賀県陸上競技連合会、(株)不明
 【協力】 株式会社 泉原

子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動

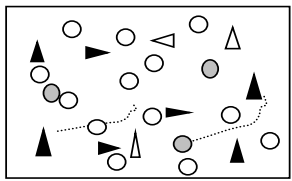
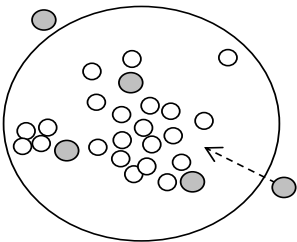


びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 フェスティバルメニュー

2014年5月24日実施

場 所：安曇川スポーツセンター
 対 象：4歳児 約27名
 担 当：田中 瑛(本学大学院生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)こおり鬼	コーチが鬼役になって、キッズたちを追いかけ、タッチする。 キッズは、1度もタッチされないように逃げる。 鬼にタッチされたキッズは、予め決めていたポーズで固まる。 また、復活の方法もコーチは提示しておく。 固まったキッズは、タッチされていないキッズに助けをもらおうと、生き返ることができ、再び逃げるができる。 ①タッチされなかった ②タッチされたけど、復活して逃げる事ができた ③困っているキッズを助ける事ができた ④ルールをしっかり守れた などを評価し、振り返る。
V)転がしドッジボール	キッズは円の中でボールにあたらないように逃げる。 ボールにあたっても、キッズは円の外に出ず、再び当たらないよう逃げる。 コーチも転がす側と、キッズと一緒に逃げる側に分かれて、メニューを実施する。 コーチはキッズたちの状況を見てボールを増やしたり減らしたり、ボールスピードを速くしたり遅くしたりする。
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 その後、キッズチーム同士で対抗戦を行う。

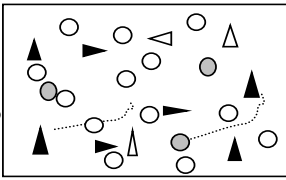


びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 フェスティバルメニュー

2014年5月24日実施

場 所：安曇川スポーツセンター
 対 象：5歳児 約26名
 担 当：山下 耀大(本学4回生)

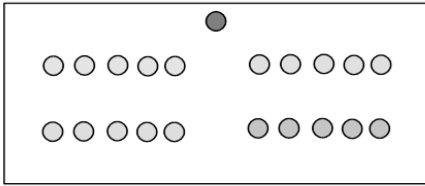

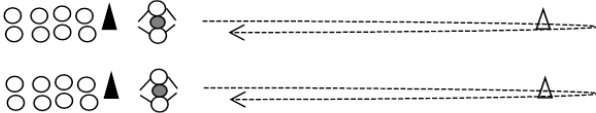

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 また、2人に1球で、 ①お腹どうしでボールを挟む。 ②頭同士でボールを挟む。③片手同士でボールを挟む。 ④おしり同士でボールを挟む。 ⑤肩同士でボールを挟む。 ⑥膝同士でボールを挟む。 ⑦背中合わせて座り、ボールを背中で挟む。 ⑧向かい合って長座の状態で座り、ボールを落とさないよう足をつたって仲間にボールを渡す。 状況に応じて、対応する。
V)バナナ鬼	水鬼と同じようなルールで行い、鬼にタッチされたキッズはバナナのポーズでかたまり、仲間の助けを待つ。 仲間に、バナナの皮を剥く動作をしてもらいと、再度逃げるができる。
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ→キッズチームの勝ち。
VII)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！



びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 フェスティバルメニュー

2014年5月24日実施

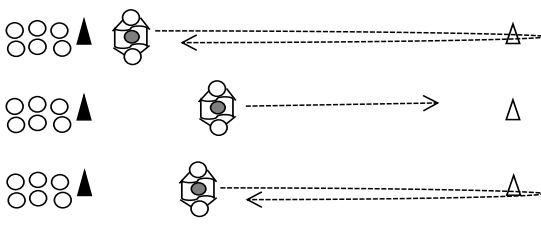
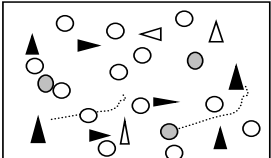
場 所：安曇川スポーツセンター
 対 象：小学校1年生 約20名
 担 当：吉田 健太郎(本学4回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。 また、初めに5人組×4作っておく。 
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。慣れてきたら、徐々にスピードを上げていく。
IV)ジャンケンお開き	2人1組になり、向かい合って立ち、ジャンケンする。負けたら、足を少し開脚する。これをしばらく続け、負ける度に開脚していくが、限界まで来たら負けとなる。具体的には、足を開脚できなくなったり、お尻をついてしまったら負けとなる。身体の柔軟性をゲームを通して育む。 
V)しっぽ取り	ビブスをしっぽに見立て、決められグリッド内で互いにしっぽを取り合う。しばらくたってから、エリアをどんどん狭くしていく。多くのしっぽを取ることを目指す。
VI)ボール運び競争	10人の2チームに分かれる。 チームの中で2人組をつくり、二人でボールを落とさない様に体の部位で挟んでリレーを行う。 回ごとにボールを挟む部位を変えたり、運ぶものを変える。 
VII)けんけんばりレー	10人の2チームに分かれけんけんばりレーを行う。 

びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 フェスティバルメニュー

2014年5月24日実施

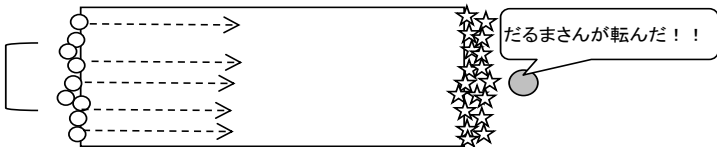
場 所：安曇川スポーツセンター
 対 象：小学校2年生 約21名
 担 当：河野 公寿(本学2回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)しっぽ取り	全員がしっぽをつけ、奪い合う。 ①しっぽを取ったキッズは、取ったしっぽをつけて逃げる。取られたキッズは、しっぽを奪いに行く。 ②コーチに挑戦 コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは奪いに行く。 すべてのしっぽを奪うことができれば、キッズたちの勝ちとなる。
V)ボールフィーリング 2人組に1球	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 ①お腹どうしてボールを挟む。 ②頭同士でボールを挟む。 ③片手同士でボールを挟む。 ④おしり同士でボールを挟む。 ⑤肩同士でボールを挟む。 ⑥膝同士でボールを挟む。 ⑦背中合わせて座り、ボールを背中で挟む。 ※①～⑦までは挟んで移動してみる。 ⑧向かい合って長座の状態ですり、ボールを落とさないよう足をつたって仲間にボールを渡す。 ⑨2人組でキャッチボールを行う。 制限時間30秒のうちにボールを落とさず交換できたか勝負する。 ⑦背中合わせて座り、ボールを背中で挟む。 ⑧向かい合って長座の状態ですり、ボールを落とさないよう足をつたって仲間にボールを渡す。 ⑨2人組でキャッチボールを行う。 制限時間30秒のうちにボールを落とさず交換できたか勝負する。
VI)仲良しボール	3チームに分かれ、ボール運び競争を行う。 それぞれのチームで二人組をつくり、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ。 
V)コーン倒し (時間があれば・・・)	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 かならず、両手で優しく倒す。 最後にコーチvsキッズで行う。 

びわスポキッズフェスティバル in 安曇川 フェスティバルメニュー

2014年5月24日実施

場 所：安曇川スポーツセンター
 対 象：小学校3年生 約21名
 担 当：小林 拳大(本学大学院生)

	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)ボールフィーリング 2人組に1球	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 その後、2人組でキャッチボールを行う。 制限時間30秒のうちにボールを落とさず交換できたか勝負する。 素早い動作を行うのはもちろん、正確にボールを扱い、コントロールして投げることやキャッチをスムーズに行い、次の動作につなげることなどが重要になる。
IV)どっちボール (コーチ当て)	決められたグリッドの中に、コーチと1人1球ボールを持ったキッズ全員が入り、 コーチはグリッド内を逃げ、キッズは逃げるコーチを追いかけ、ボールを当てる。 逃げるコーチ全員にボールを当てることを目指す。 ボールは1人1球なので、コーチにあたらず転がって行ったときは、 そのボールを自分で取りに行き、再び当てに行く。
V)手つなぎ鬼	決められたグリッドの中でキッズは逃げる。 タッチされたキッズは、コーチと手をつなぎ、逃げているキッズをタッチしに行く。
VI)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。 時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！ はじめは簡単なルールで行い、徐々に後ろ向きで走る・二人組で走るなど、制限をかけ難易度を上げていく。
	
VI)ドッジビー	2チームに分かれて、ボールを多く使ってドッジビーを行う。 ディスクの数を増やしたり、ディスクだけでなくボールを使ったりする。

びわスポキッズフェスティバル in 竜王 フェスティバルメニュー

2014年 9月28日実施

場 所：竜王ドラゴンハット
 対 象：4歳児 約27名
 担 当：田中 瑛(本学大学院生)

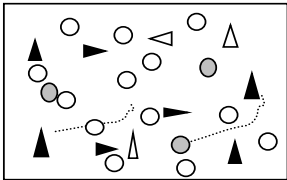
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元氣よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	はじめに、ランニングを行い、その後準備体操を行う。 隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて体操をする。 サーキットランニング
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、スピードアップや、様々な動物になりきってみる。
IV)バナナ鬼	<p>コーチが鬼役になって、キッズたちを追いかけ、タッチする。キッズは、1度もタッチされないようにする。 復活の際は、仲間にバナナの皮をむいてもらう動作をしてもらうと復活できる。</p> <p>①タッチされなかった ②タッチされたけど、復活して逃げることができた ③困っているキッズを助けることができた ④ルールをしっかり守れた</p> <p style="text-align: right;">などを評価し、振り返る。</p>
V)ボールフィーリング	<p>コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。</p>
VI)コーン倒し	<p>コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる。 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ →キッズチームの勝ち。</p> <div data-bbox="1098 1301 1385 1480" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>
VII)だるまさんが転んだ	<p>ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める!</p> <div data-bbox="427 1688 1161 1854" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>

びわスポキッズフェスティバル in 竜王 フェスティバルメニュー

2014年 9月28日実施

場 所：竜王ドラゴンハット
 対 象：5歳児 約30名
 担 当：山下 耀大(本学4回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 また、2人に1球で、 ①お腹どうしでボールを挟む ②頭同士でボールを挟む ③片手同士でボールを挟む ④おしり同士でボールを挟む ⑤肩同士でボールを挟む ⑥膝同士でボールを挟む ⑦背中合わせで座り、ボールを背中で挟む ⑧向かい合って長座で座り、ボールを落とさないよう足をつたってボールを渡す。 到達度を見ながら、状況に応じて、対応する。
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる。 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ →キッズチームの勝ち。
VII)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！



びわスポキッズフェスティバル in 竜王 フェスティバルメニュー

2014年 9月28日実施

場 所：竜王ドラゴンハット
 対 象：小学校1年生 約21名
 担 当：小林 拳大(本学大学院生)

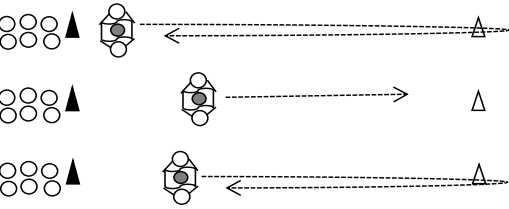
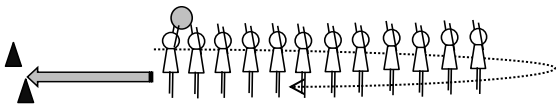
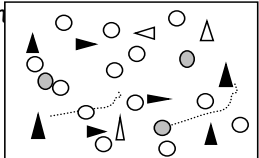
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>
II)準備体操	コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。慣れてきたら、徐々にスピードを上げていく。 また、「走れ・止まれ」「集まれ・集まらないで」なども行う。
IV)バナナ鬼	コーチが鬼役になって、キッズたちを追いかけ、タッチする。キッズは、1度もタッチされないように逃げる。鬼にタッチされたキッズは、バナナのポーズで固まる。復活の際は、仲間にバナナの皮をむいてもらう動作をしてもらうと復活できる。 ①タッチされなかった ②タッチされたけど、復活して逃げることができた ③困っているキッズを助けることができた ④ルールをしっかり守れた などを評価し、振り返る。
V)子とろ子とろ	1人が鬼、1人が親、他のキッズは子となり、親の後ろにキッズ達が前の人の肩または腰をつかんで列を作る(人間列車のように作る)。親に直面した鬼は子を守る先頭にいる親のガードを切り抜けて、列の最後にいるキッズにタッチする。列を作ったキッズ達は、鬼にタッチされないよう、手を話さず逃げる。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>
VI)鬼退治	キッズたちは1人1球ボールを持ち、鎧を着た(ビブスをたくさん付けた)鬼(コーチ)にボールを当て、全ての鎧をはがし退治する。鬼は1度当たるとに1枚ずつ鎧(ビブス)を取る。制限時間内に全ての鬼を退治できたら、キッズたちの勝ちとなる。
VII)宝集め	3~4チームに分かれ、宝集めを行う。中央の宝がなくなったら、他のチームの宝をとりに行ってもよい。ただし、一度に運べる宝は1つまでとし、必ずコーンをバトンにして、コーンを逆さにした状態にボールを乗せて運ぶ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> バトン→ </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div>

びわスポキッズフェスティバル in 竜王 フェスティバルメニュー

2014年 9月28日実施

場 所：竜王ドラゴンハット
 対 象：小学校2・3年生 約34名
 担 当：河野 公寿(本学2回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後には言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)手つなぎ鬼	コーチが鬼役となり、タッチされたキッズはコーチと手をつなぎ、他のキッズを捕まえに行く。最後まで、鬼にタッチされないよう逃げる。
V)しっぽ取り	全員がしっぽをつけ、奪い合う。 ①しっぽを取ったキッズは取ったしっぽをつけて逃げ、取られたキッズはしっぽを奪いに行く。 ②コーチに挑戦 コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは奪いに行く。 すべてのしっぽを奪うことができれば、キッズたちの勝ちとなる。
V)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 かならず、両手で優しく倒す。
VI)ボール渡しリレー	4~6チームに分かれ、1列に並び、スタートの合図でボールを後ろに渡していき、最後尾までいったら、今度は前に運び、先頭が再びボールを受け取ったらゴールまで走る。 はじめはキッズボールで行うが、送るモノをコーンや大きいボール、ボール二つなど変化させていく。各回の間に作戦タイムを設けるなどして、順番を入れ替えたり、運び方を工夫したりする。
VI)仲良しボール	3~4チームに分かれ、ボール運び競争を行う。 それぞれのチームで二人組をつくり、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ。

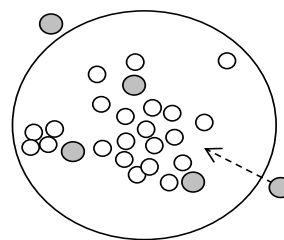


びわスポキッズフェスティバル in 東近江 フェスティバルメニュー

2014年10月11日実施

場 所：布引グリーンスタジアム
 対 象：4歳児 約54名
 担 当：田中 瑛(本学大学院生)，吉田 健太郎(本学4回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	はじめに、ランニングを行い、その後準備体操を行う。 隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて体操をする。
III)サーキット ランニング	コート内にコーンやマーカーなど、様々な障害物を置き、 サーキットランニングを行う。
IV)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と 言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら 手で押さえる。慣れてきたら、スピードアップや、様々な動物になりきってみる。
V)バナナ鬼	コーチが鬼役になって、キッズたちを追いかけ、タッチする。キッズは、1度もタッチ されないようにする。 復活の際は、仲間にバナナの皮をむいてもらう動作をしてもらうと復活できる。 ①タッチされなかった ②タッチされたけど、復活して逃げることができた ③困っているキッズを助けることができた ④ルールをしっかり守れた などを評価し、振り返る。
VI)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。
VII)爆弾ゲーム (転がしドッジボール)	キッズは円の中でボールにあたらないように逃げる。 ボールにあたっても、キッズは円の外に出ず、 再び当たらないよう逃げる。 コーチも転がす側と、キッズと一緒に逃げる側に 分かれて、メニューを実施する。 コーチはキッズたちの状況を見て ボールを増やしたり減らしたり、 ボールスピードを速くしたり遅くしたりする。 ①2コートに分かれて行う。 ②最後は大きな1コート全員で行う。

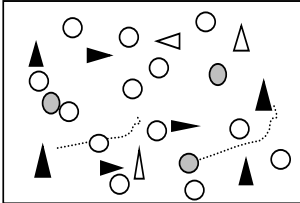


びわスポキッズフェスティバル in 東近江 フェスティバルメニュー

2014年10月11日実施

場 所：布引グリーンスタジアム
 対 象：5歳児 約53名
 担 当：山下 耀大(本学4回生), 松井 大喜(本学3回生)

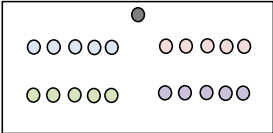

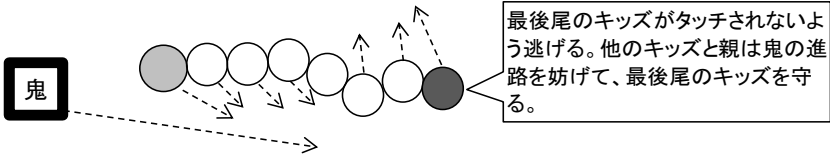

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 また、2人に1球で、 ①お腹どうしでボールを挟む ②頭同士でボールを挟む ③片手同士でボールを挟む ④おしり同士でボールを挟む ⑤肩同士でボールを挟む ⑥膝同士でボールを挟む ⑦背中合わせて座り、ボールを背中で挟む ⑧向かい合って長座で座り、ボールを落とさないよう足をつたってボールを渡す。 到達度を見ながら、状況に応じて、対応する。
V)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる。 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ→キッズチームの勝ち。
VI)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！



びわスポキッズフェスティバル in 東近江 フェスティバルメニュー

2014年10月11日実施

場 所：布引グリーンスタジアム
 対 象：小学校1年生 約58名
 担 当：小林 拳大(本学大学院生)，江見 亮輔(本学OB)

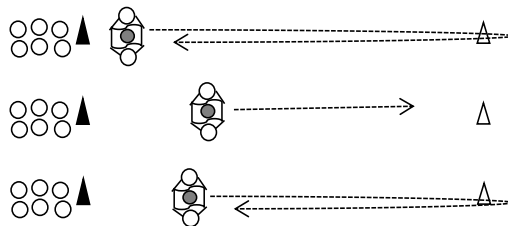
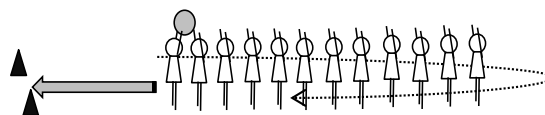
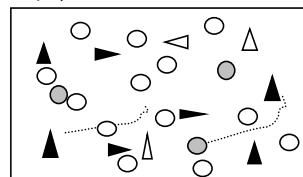
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。 
II)準備体操	コーチの動きに合わせて準備体操をする。 
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒！」、「やること一緒！」と言ったら「やること一緒！」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。慣れてきたら、徐々にスピードを上げていく。 また、「走れ・止まれ」「集まれ・集まらないで」なども行う。
IV)バナナ鬼	コーチが鬼役になって、キッズたちを追いかけ、タッチする。キッズは、1度もタッチように逃げる。鬼にタッチされたキッズは、バナナのポーズで固まる。復活の際は、仲間にバナナの皮をむいてもらう動作をしてもらうと復活できる。 ①タッチされなかった ②タッチされたけど、復活して逃げる事ができた ③困っているキッズを助ける事ができた ④ルールをしっかり守れた などを評価し、振り返る。
V)子とろ子とろ	1人が鬼、1人が親、他のキッズは子となり、親の後ろにキッズ達が前の人の肩または腰をつかんで列を作る(人間列車のように作る)。親に直面した鬼は子を守る先頭にいる親のガードを切り抜けて、列の最後にいるキッズにタッチする。列を作ったキッズ達は、鬼にタッチされないよう、手を話さず逃げる。 
VI)鬼退治	キッズたちは1人1球ボールを持ち、鎧を着た(ビブスをたくさん付けた)鬼(コーチ)にボールを当て、全ての鎧をはがし退治する。鬼は1度当たるごとに1枚ずつ鎧(ビブス)を取る。制限時間内に全ての鬼を退治できたら、キッズたちの勝ちとなる。
VII)宝集め	3~4チームに分かれ、宝集めを行う。中央の宝がなくなったら、他のチームの宝をとりに行ってもよい。ただし、一度に運べる宝は1つまでとし、必ずコーンをバトンにして、コーンを逆さにした状態にボールを乗せて運ぶ。 

びわスポキッズフェスティバル in 東近江 フェスティバルメニュー

2014年10月11日実施

場 所：布引グリーンスタジアム
 対 象：小学校2年生 約42名
 担 当：河野 公寿(本学2回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)手つなぎ鬼	コーチが鬼役となり、タッチされたキッズはコーチと手をつなぎ、他のキッズを捕まえに行く。最後まで、鬼にタッチされないよう逃げる。
V)しっぽ取り	全員がしっぽをつけ、奪い合う。 ①しっぽを取ったキッズは取ったしっぽをつけて逃げ、取られたキッズはしっぽを奪いに行く。 ②コーチに挑戦 コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは奪いに行く。 すべてのしっぽを奪うことができれば、キッズたちの勝ちとなる。
V)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 かならず、両手で優しく倒す。
VI)ボール渡しリレー	4~6チームに分かれ、1列に並び、スタートの合図でボールを後ろに渡していき、最後尾までいったら、今度は前に運び、先頭が再びボールを受け取ったらゴールまで走る。 はじめはキッズボールで行うが、送るモノをコーンや大きいボール、ボール二つなど変化させていく。各回の間に作戦タイムを設けるなどして、順番を入れ替えたり、運び方を工夫したりする。
VI)仲良しボール	3~4チームに分かれ、ボール運び競争を行う。 それぞれのチームで二人組をつくり、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ。

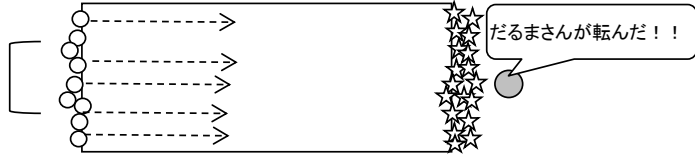
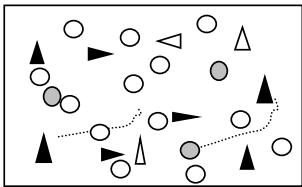


びわスポキッズフェスティバル in 大津 フェスティバルメニュー

2014年11月2日実施

場 所：びわこ成蹊スポーツ大学 サッカーフィールド
 対 象：4歳児 約26名
 担 当：山下 耀大(本学4回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元氣よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒！」と言ったら「やること一緒！」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 また、2人に1球で、 ①お腹どうしでボールを挟む ②頭同士でボールを挟む ③片手同士でボールを挟む ④おしり同士でボールを挟む ⑤肩同士でボールを挟む ⑥膝同士でボールを挟む ⑦背中合わせて座り、ボールを背中で挟む ⑧向かい合って長座で座り、ボールを落とさないよう足をつたってボールを渡す。 到達度を見ながら、状況に応じて、対応する。
V)手つなぎ鬼	コーチが鬼役でスタートし、キッズは指定されたグリッド内を逃げる。鬼にタッチされたら手をつなぎ、他のキッズを捕まえに行く。
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる。 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ→キッズチームの勝ち。
VII)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！

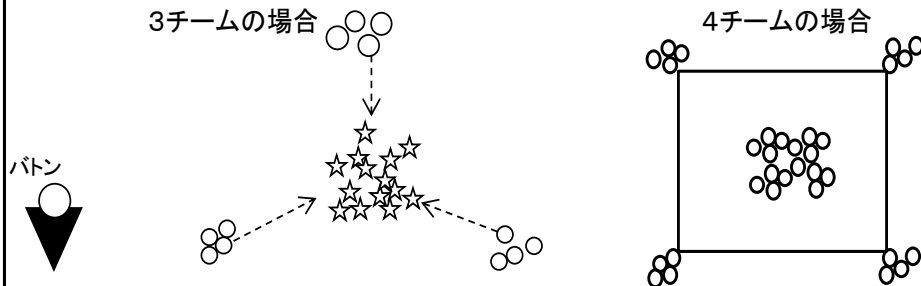


びわスポキッズフェスティバル in 大津 フェスティバルメニュー

2014年11月2日実施

場 所：びわこ成蹊スポーツ大学 サッカーフィールド
 対 象：5歳児 約22名
 担 当：小林 拳大(本学大学院生)

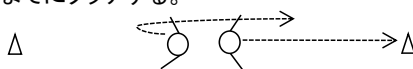
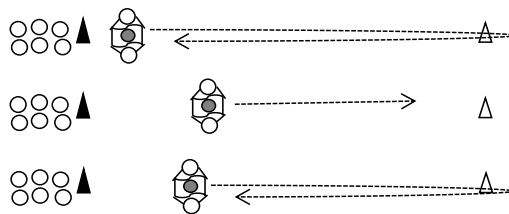
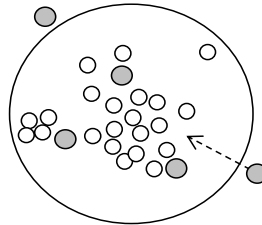
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
III)バナナ体操	コーチの「GO!バナナ!GO!GO!バナナ!!」の掛け声で、バナナ体操を行う。
IV)バナナ鬼	コーチが鬼役になって、キッズを追いかけ立ち居する。キッズは一度もタッチされないように逃げる。鬼にタッチされたキッズは、バナナのポーズで固まる。復活の際は、バナナの皮をむいてもらう動作で再び逃げる事が出来る。
V)障害物リレー	3-4チームに分かれ、様々な障害物リレーを行う。
VI)エネルギーをためる	コーチは腕にビブスをたくさんつけて、羽のようになる。キッズは、1人1球ボールをもち、逃げろコーチの羽(ビブス)を狙って投げる。コーチ全員の羽(ビブス)にボールを当てることを目指す。
VII)宝集め	3-4チームに分かれ、宝集めを行う。各チーム順番に、1人ずつ中央の宝を集めに行く。ただし、一度に運べるボールは1人1球までとし、必ずコーンを逆さまにし、アイスクリームのようにボールをのせて運ぶ。中央の宝がなくなったら、他のチームの宝をとりこいでよい。最終的に、一番多くの宝を持っているチームの勝ちとなる。



びわスポキッズフェスティバル in 大津 フェスティバルメニュー

2014年11月2日実施

場 所：びわこ成蹊スポーツ大学 サッカーフィールド
 対 象：小学校1年生 約28名
 担 当：河野 公寿(本学2回生)

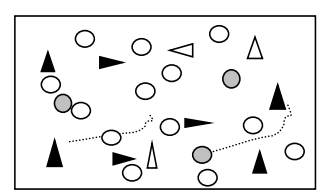
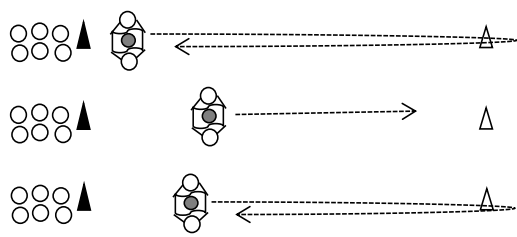
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	コーチの動きに合わせて準備体操をする。 その後、「ケン・ケン・パ」を行う。
III)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 到達度を見ながら、状況に応じて、対応する。 また、状況に応じて2人に1球で、 ①お腹どうしでボールを挟む ②頭同士でボールを挟む ③片手同士でボールを挟む ④おしり同士でボールを挟む ⑤肩同士でボールを挟む ⑥膝同士でボールを挟む ⑦背中合わせで座り、ボールを背中で挟む ⑧向かい合って長座で座り、ボールを落とさないよう足をつたってボールを渡す。 など、様々なボールフィーリングを行う。
IV)GOGO鬼ごっこ	キッズは二人組を作り、背中合わせで座る。それぞれ「ゴリラ」役と「キツネ」役に分け、 コーチの「GO GO ○○○！」の掛け声で、言われたほうはコーンまで逃げきる。 言われなかったほうは、コーンにつくまでにタッチする。 
V)ボール運び	3~4チームに分かれ、ボール運び競争を行う。 それぞれのチームで二人組をつくり、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、 その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ。状況に応じて運び方を変える。 
VI)しっぽ取り	①コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは全てのしっぽを奪いに行く。 ②全員がしっぽをつけ、奪い合う。しっぽをとられたキッズも、他のキッズのしっぽを奪い、それをまたしっぽにして逃げる。
VII)転がしドッジ	キッズは円の中でボールにあたらないように逃げる。ボールにあたっても、 キッズは円の外に出ず、再び当たらないよう逃げる。 コーチも転がす側と、キッズと一緒に逃げる側に 分かれて、メニューを実施する。 コーチはキッズたちの状況を見て ボールを増やしたり減らしたり、 ボールスピードを速くしたり遅くしたりする。 

びわスポキッズフェスティバル in 大津 フェスティバルメニュー

2014年11月2日実施

場 所：びわこ成蹊スポーツ大学 サッカーフィールド
 対 象：小学校2・3年生 約33名
 担 当：田中 瑛(本学大学院生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)サーキット遊び	みんなでランニングしながら、様々な障害物を跳び越えたり、かわしたりする。
IV)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。また、慣れてきたら「やること逆!」も行う。例えば、コーチが「右」と言ったら、「左!」と言い、コーチの動きに感わされないように逆のことをやる。
V)しっぽ取り	全員がしっぽをつけ、奪い合う。しっぽをとられたキッズも、他のキッズのしっぽを奪いそれをまたしっぽにして逃げる。 また、状況に応じて3チームに分け、チーム対抗戦を行う。 1チームが鬼、他の2チームが逃げ、決められた時間内でいくつのしっぽを取れたかを競い合う。
VI)ボールフィーリング	コーチの指示に従い様々なボールフィーリングを行う。 例えば、1人1球で投げたり、キャッチしたり、手でドリブル、足でドリブルしたりする。 到達度を見ながら、状況に応じて、対応する。 また、二人組を作り、キャッチボールや、パス交換なども行う。
VII)対抗リレー	3チームに分かれ、様々なリレー競争を行う。 シンプルに障害物を上手くかわしながら1人ずつ走ったり、それぞれのチームで二人組をつくり、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ など。
VIII)コーン倒し	コーンを倒すチームと、コーンを起こすチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 かならず、両手で優しく倒す。



びわスポキッズフェスティバル in 草津 活動記録

実施日 2014年12月6日(土) 受付12:30～ 開始13:00～

対象 幼稚園・保育園・こども園 4・5歳児 , 小学校1～3年生

対象者数 176名 学生指導者数 44名

場所 三ツ池運動公園

実施形態 実技

概要 今年度最後のびわスポキッズフェスティバルが、草津市にある三ツ池運動公園にて開催された。開催前日より、非常に強い寒波が滋賀県内を襲い、雪の中での開催が予想された。当日は、青空がなかなか見られず、非常に気温の低い中での実施となったため、保護者へカイロの提供サービスを行うなどの対策をとった。当日の参加者は、176名であった(事前申込225名)。

キッズリーダーの中には、今回のフェスティバルをもって、卒業を迎える学生や、新たな時代を担うキッズリーダーの台頭もみられ、非常に印象深いフェスティバルとなった。

参加者からは、「寒さを吹き飛ばすくらい楽しめた」「年に何度か実施してほしい」などの意見を頂き、盛況であったことが窺える。

プログラム中の多くの時間は曇り空の中での実施であったが、キッズリーダーやキッズたちの元気さもあってか、プログラム終盤には綺麗な夕日が覗いた。

記 録

びわスポキッズフェスティバル
BIWA SPO KIDS FESTIVAL

開催のお知らせ
びわこ成蹊スポーツ大学
びわスポキッズプログラム

キッズプログラム
-SHIGA-

2014年
日 12月6日(土)
時 受付12:15～ 開始13:00～

場所
三ツ池運動公園
滋賀県草津市西矢倉1丁目3番1号

【主催】 学校法人 大塚成蹊学園(びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター)
【協賛】 株式会社平和堂、滋賀トヨペット株式会社、ユールコーポレーション株式会社、草津ワイオンストア、
全日本不動産協会滋賀県本部、あそびクリニック、キッパビレッジ株式会社、ミズメ株式会社、森永製菓株式会社、
味の素株式会社、株式会社山田スポーツ、株式会社スポーツショップアキタ (順不同)
【後援】 滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、高島市教育委員会、草津市教育委員会、一般社団法人草津市体育協会、
公益財団法人滋賀県体育協会、大津市体育協会、滋賀県経済団体連合会、滋賀県商工会議所連合会、
滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県経済同好会、社団法人滋賀県経済産業会、
社団法人びわこビジネスエッセイ、NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB (順不同)

子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動

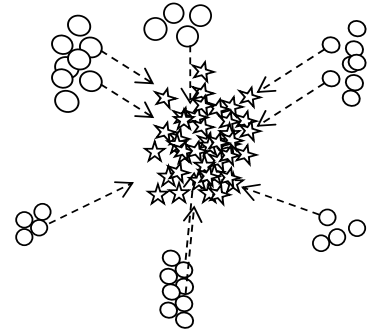
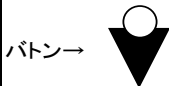
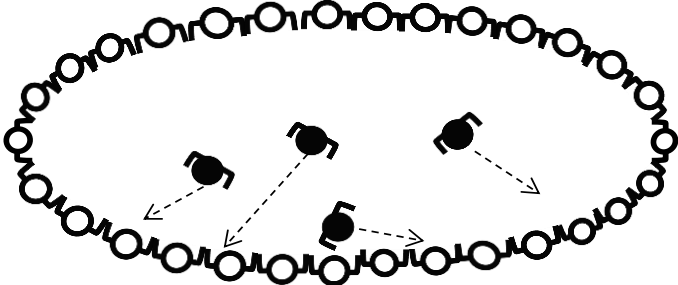


びわスポキッズフェスティバル in 草津 フェスティバルメニュー

2014年12月6日実施

場 所：三ツ池運動公園
 対 象：4歳児 約57名
 担 当：山下 耀大(本学4回生)


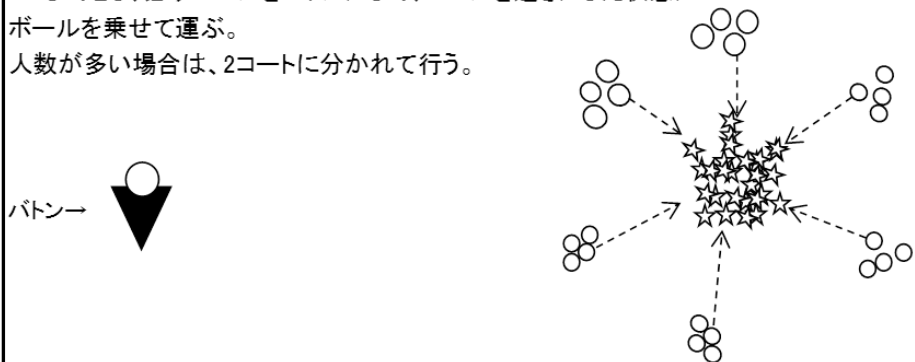
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。
IV)ボールフィーリング	1人1球または、2人1球ボールを持ち、様々なボールフィーリングを行う。。
V)みんなでコーチキャッチ	みんなで手をつないで円を作り、中央にいるコーチが円の外に出ないように協力する。
VII)宝集めゲーム	8~10チームに分かれ、宝集めを行う。中央の宝がなくなったら、他のチームの宝をとりに行ってもよい。ただし、一度に運べる宝は1つまでとし、必ずコーンをバトンにして、コーンを逆さにした状態にボールを乗せて運ぶ。 人数が多い場合は、2コートに分かれて行う。
VII)だるまさんが転んだ	ルールは通常のだるまさんが転んだと同じだが、鬼の近くに置いたボールを自陣に持ち帰る。但し、鬼が目を伏せていないときは「だるまさんが転んだ」とコールしても動くことができない。マーカーを取った後も、持ち帰るまでコーチの目線を見ながら帰る。時間を見ながら、残りのコールする回数を決める！



びわスポキッズフェスティバル in 草津 フェスティバルメニュー

2014年12月6日実施

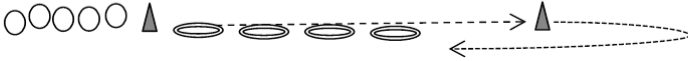
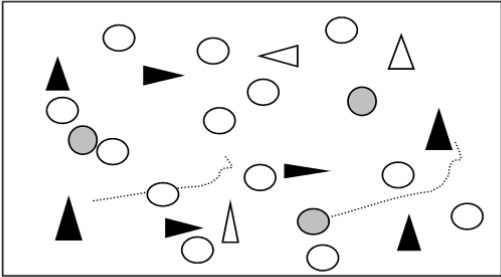
場 所：三ツ池運動公園
 対 象：5歳児 約50名
 担 当：田中 瑛(本学大学院生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	コーチについて、ランニングを行う。 隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)言うこと一緒 やること一緒	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後に言われる体の部位を言いながら手で押さえる。慣れてきたら、「右」など方向を言い、言われた方向にジャンプする。また、動物のマネも入れてバリエーションを増やす。
IV)しっぽ取り	【コーチに挑戦】コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは奪いに行く。 すべてのしっぽを奪うことができれば、キッズたちの勝ちとなる。
VIII)ジグザグリレー	ジグザグリレーを行う。置いてあるコーンの最後まで行ったら、コーンの外側を通して、スタート位置へ帰ってくる。
	
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 ※コーンは必ず手で立てる・倒す。 ※コーンはその場から移動させない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 キッズvsキッズや、状況を見て、コーチvsキッズチームで行う。 コーチvsキッズで行う場合、理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ→キッズチームの勝ち。
VII)宝集めゲーム	8~10チームに分かれ、宝集めを行う。中央の宝がなくなったら、他のチームの宝をとりに行ってもよい。ただし、一度に運べる宝は1つまでとし、必ずコーンをバトンにして、コーンを逆さにした状態にボールを乗せて運ぶ。 人数が多い場合は、2コートに分かれて行う。
	

びわスポキッズフェスティバル in 草津 フェスティバルメニュー

2014年12月6日実施

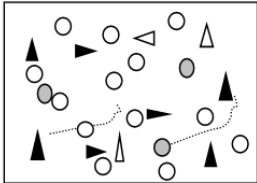
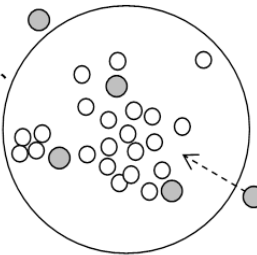
場 所：三ツ池運動公園
 対 象：小学校1年生 約49名
 担 当：松井 大喜(本学3回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介 握手チャンピオン	元気よくあいさつし、握手チャンピオンを行う。 50名近くいるキッズの中で、誰が一番多くの握手を出来るか、勝負する。 自己紹介をし、コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)ジェスチャーラン (言うこと一緒、やること一緒) (ランニングバージョン)	コーチが「言うこと一緒！」と言ったら「言うこと一緒!」、「やること一緒!」と言ったら「やること一緒!」と言い、その後と言われる体の部位を言いながら手で押さえる。コーチの動きを真似するこのゲームを、走りながら行う。 慣れてきたら、徐々にスピードを上げていく。
IV)ボールリレー	①一列に並び、一番前から一番後ろに股の下を通してボールを運ぶ。 ②その後、障害物をかわし、コーンを廻って帰ってくる。 
V)コーン倒し	コーンを倒す怪兽チームと、コーンを起こすヒーローチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 キッズvsキッズもしくは、コーチvsキッズで行う。 コーチvsキッズで行う場合は、キッズに何人か手伝ってもらう。 ※コーンは必ず手で立てる・倒す。コーンはその場から移動させない。 

びわスポキッズフェスティバル in 草津 フェスティバルメニュー

2014年12月6日実施

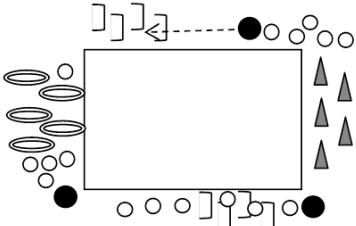
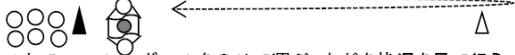

場 所：三ツ池運動公園
 対 象：小学校2年生 約46名
 担 当：河野 公寿(本学2回生)

メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元氣よくあいさつし、自己紹介をする。 コーチとの約束事を確認する。
II)準備体操	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
III)馬とびじゃんけん	①自由に走り回り、コーチの合図で近くの人とじゃんけんをする。 ②勝った人が負けた人の股をぐり、その後馬とびをする。 ※より多く馬とびできることを目指す！
IV)しっぽ取り	全員がしっぽをつけ、奪い合う。 ①しっぽを取ったキッズは、取ったしっぽをつけて逃げる。取られたキッズは、しっぽを奪いに行く。 ②コーチに挑戦 コーチがたくさんしっぽをつけ、キッズたちは奪いに行く。 すべてのしっぽを奪うことができれば、キッズたちの勝ちとなる。
V)ボール渡しリレー	5～7チームに分かれて行う。 ①一列に並び、一番前から一番後ろにボールを運ぶ。 ②1回目は頭の上からボールを後ろへ渡す。 ③一番後ろの人は、ボールを受けたらボールを持って一番前へ行き、ゴールを目指す。 ④ボールに限らず、大きなコーンや、マーカーなど運ぶものも工夫する。
VI)コーン倒し	コーンを倒すコーチチームと、コーンを起こすキッズチームに分かれ、多く残っているチームの勝ちとなる。 ※コーンを倒すとき、コーンを蹴ってはいけない。 人数を見て、2チームに分け、1チームずつ行う。 コーチvsキッズチームで先に2勝したら勝ちとなる。 理想は1勝1敗→最後キッズ全員vsコーチ→キッズチームの勝ち。 
VII)転がしドッジボール	キッズは円の中でボールにあたらないように逃げる。 ボールにあたって、グリッドの外にいるコーチにタッチしたら、元に戻ることが出来る。 コーチも転がす側と、キッズと一緒に逃げる側に分かれて、メニューを実施する。 コーチはキッズたちの状況を見てボールを増やしたり減らしたり、ボールスピードを速くしたり遅くしたりする。 

びわスポキッズフェスティバル in 草津 フェスティバルメニュー

2014年12月6日実施

場 所：三ツ池運動公園
 対 象：小学校3年生 約23名
 担 当：友田 孝道(本学2回生)

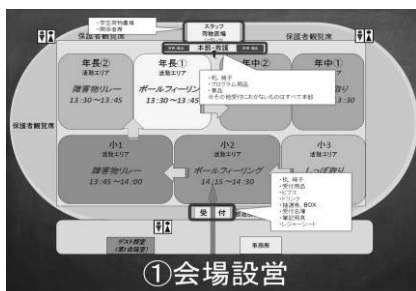
メニュー	内容
I)挨拶・自己紹介	元気よくあいさつし、自己紹介をする。
II)準備体操	コーチとの約束事を確認する。
	隣とぶつからないよう広がり、コーチの動きに合わせて準備体操をする。
	手押し相撲などを入れる。
III)サーキットランニング	コーチが先頭に立って最後につき、各辺でアジリティを行う。
	慣れてきたら、片足で行ったり、スピードを上げたりする。
	
IV)しっぽ取り	ビブスをしっぽに見立て、グリッド内でコーチvsキッズでしっぽ取りを行う。
	キッズ同士がぶつからないように気をつけ、また、逃げられる範囲を明確に指定する。
	ぶつかってしまったときは「ごめんね」や「大丈夫？」などの声かけが出来るようにする。
	たとえしっぽが取れなくても、「最後まであきらめず走った」、「こけてしまっても最後まで頑張れた」、「ごめんね」などがきちんと言えたなどの点も振り返り、評価してあげる。
V)コーン倒し・起こし	コーンを倒すチームと起こすチームに分かれ、どちらのコーンが多く残っているか勝負する。
	はじめは、コーチvsキッズで行うが、状況を見て、コーチチームに何人かキッズに入ってもらい、さらに勝負する。キッズvsキッズにしても良い。
	※コーンは必ず手で立てる・倒す。コーンはその場から移動させない。
VI)仲良しボール	それぞれのチームで二人組をつくり、身体の色んな部分を使ってボールを落とさず運ぶ。
	また、二人が向かい合ってビブスをピンと張って持ち、その上にボールを載せて、落とさない様にして運ぶ。
	
	→その後、1人で コーンにボールをのせて運ぶ などを状況を見て行う。
(VII)ボールフィーリング)	1人に1球ボールを持ち様々なボールフィーリングを行う。
ボールの数があれば…	①頭上に投げてキャッチ ②頭上に投げてしゃがんでからキャッチ ③頭上に投げて1回転してキャッチ
	④頭上に投げて胸を地面につけてからキャッチ ⑤頭上に投げて前転してからキャッチ
	⑥頭上に投げてジャンプ回転してからキャッチ
VIII)ジグザグリレー	はじめはジグザグにドリブルなどの練習をする。置いてあるコーンの最後まで行ったら、コーンの外側を通過して、スタート位置へ帰ってくる。
	その後、最後にリレーを行う。
	

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム キッズフェスティバル事前研修会及び打合せ
担当	板金 立樹
実施日	2014年 5月23日(金)…①, 9月26日(金)…②, 10月10日(金)…③ 10月31日(金)…④, 12月3日(水)…⑤ 12:20~12:55
対象者数	本学学生 計174名(①29名, ②28名, ③50名, ④23名, ⑤44名)
場所	びわこ成蹊スポーツ大学 講義棟 C109
実施形態	研修・打合せ
概要	2014年実施の全5回のフェスティバルに向けての事前研修と打合せを行った。巡回指導では、プログラム指導に集中しやすいが、フェスティバルではイベントの運営・初対面同士のキッズを楽しませる・指導対象数が多い等、キッズリーダーの果たす役割は非常に多い。 普段の活動とは違ったフェスティバル独特の雰囲気をいかに楽しみ、いかに質の高いものにするかは、このような事前の準備にあると考える。 フェスティバルに向けて、運営おける説明だけでなく、リーダーが当日をイメージし、密なメニューの打ち合わせを行うことで、フェスティバルが支えられている。

記録(写真)

<打合せ資料(抜粋)>



<打合せの様子>



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名 びわスポキッズプログラム キッズリーダー研修会・登録会

担当 山田 庸

実施日 2014年4月22日(火) 16:30~17:15

対象者数 本学学生約300名

場所 びわこ成蹊スポーツ大学 大講義室

実施形態 講義

概要 2014年度第1回目のキッズリーダー研修会・登録会を、本学学生約300名を対象に講義形式で実施した。びわスポキッズプログラムの活動にあたって「巡回指導におけるリスク管理について」をテーマとし、キッズ年代の指導における基本知識(幼児期の特性・オーガナイズ全般・プログラム時間など)を踏まえ、講義を行った。
また研修会実施と同時に、年度毎に登録するキッズリーダー登録会も行った。

記録(写真)



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム キッズリーダー研修会・登録会
担当	山田 庸
実施日	2014年5月15日(木) , 9月25日(木) 12:25~12:55
対象者数	本学学生 250名(5月15日) , 30名(9月25日)
場所	びわこ成蹊スポーツ大学 大ホール(5月15日) , 第1ホール(9月25日)
実施形態	講義
概要	<p>2014年度第2回目のキッズリーダー研修会・登録会を、本学学生約250名を対象に講義形式で実施した。主に、「巡回指導の流れ」を実際の指導映像をもとに説明し、問答形式で振り返りを行った。参加した学生は、巡回指導の際に、実際にどのように関われば良いか、映像による講義であったため、イメージのしやすい研修会になった。</p> <p>また、5月15日に参加できなかった学生や、新たにキッズの活動に興味のある学生を対象とした同内容の第3回研修会を9月に実施した。これにより、後期巡回指導やフェスティバル(9月・10月11月・12月)のキッズリーダーの確保が充実した。</p>

記録(写真)

<5月15日実施>



<9月25日実施>



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名 びわスポキッズプログラム キッズリーダー研修会・登録会

担当 山田 庸

実施日 2014年12月4日(木) 12:25~12:55

対象者数 本学学生約80名

場所 びわこ成蹊スポーツ大学 大ホール

実施形態 講義

概要 2014年度第4回目のキッズリーダー研修会・登録会を、本学学生約80名を対象に講義形式で実施した。昨年度作成した「親子プログラム」のDVD映像などをもとに、現行のキッズを対象とした巡回指導とは違った、「親子での活動の支援」について学ぶ機会となった。
講義の内容は、①幼児期の神経系:コーディネーションについて、②家庭(屋内外)でできるプログラム、③親子のコミュニケーション、④親の身体活動量についてであった。

記録(写真)

